



「21世紀型教育モデル授業」

～小学生が英語とICTを活用し、ライフサイクルの学習をします～



文科省の「未来を拓く学び・学校創造戦略」や総務省の「フューチャースクール推進事業」が進められる中、英語とICTを活用した21世紀型教育のモデル授業を行います。日本の小学生とインターナショナルスクールの生徒達が一緒に授業を受けます。授業のテーマは「ライフサイクル」です。子どもたちはICTを使って英語でプレゼンテーションをします。先生はファシリテーターとして授業を進めます。是非この機会に、21世紀型教育のモデル授業をご覧になってください。

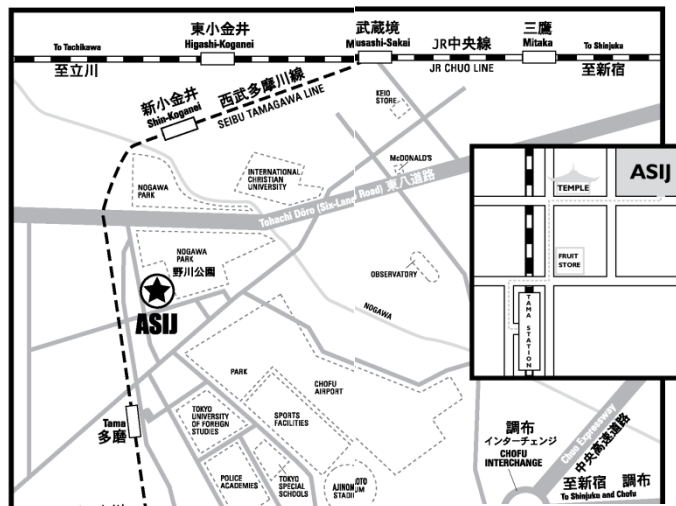
百聞は一見にしかず！
是非この機会に21世紀型教育のモデル授業をご参観下さい。


《開催概要》

日時： 2012年4月21日(土) 10:00～13:00 (質疑応答は14:00まで)

場所： アメリカンスクール ASIJ (<http://community.asij.ac.jp>)
東京都調布市野水 1-1-1
Tel: 0422-34-5300

参加方法： 学校への入門許可のために、事前に下記Webサイトに登録をお願いいたします。
<http://www.acteva.com/booking.cfm?bevaid=229177>



共催：  特定非営利活動法人スーパーサイエンスキッズ (<http://www.supersciencekids.com/>)

Japan ASCD (<http://jascd.org/>)

後援： ACCJ

「21世紀型教育」とは

21世紀では、イノベーションを起こし、変化をリードする創造力豊かな人材があらゆる分野で求められています。

課題を自ら発見し、自からの意見を持ち、他者とコミュニケーションすることで、さらに考えを深化させ、課題解決に挑戦する。このような人材を育成するためには、今までの教育を大きく変革する必要があることは明白です。

今回は実践を通して21世紀型教育に取り組んでおられる西町インターナショナルスクールの堀井先生にご協力いただき、当法人のファシリテーター桑原が21世紀型教育のモデル授業を行います。

今回の授業のポイント

1. 当法人のインターナショナルスクールの小学生とインターナショナルスクールの生徒の合同授業です。グローバルコミュニケーションを体験的に学びます。
2. サイエンス[理科]“ライフサイクル”の授業です。英語とICTは学習のツールとして利活用します。日本の生徒にとっては、英語を実践的に学ぶ授業でもあります。
3. 生徒は英語でプレゼンテーションを行います。
4. 先生は一方的に教授するのではなく、ファシリテーターとして、生徒と一緒に学び、議論しながら、授業を進行します。

尚、生徒たちは事前に“ライフサイクル”と今回プログラミングツールとして使用する“スクラッチ”の授業をそれぞれ1.5-3時間受けています。

英語とICT自体の学習も大切ですが、今回は一般の教科においてこれらをツールとしてどのように利活用できるのか、またその中で生きた英語とICTの学習もできることをご覧いただければと思います。



特定非営利活動法人スーパーサイエンスキッズ
理事長 瓜谷輝之

ロサンゼルスオープンチャータースクールをSSKの子どもたちと訪問



特定非営利活動法人スーパーサイエンスキッズ

当法人は、未来を担う子ども達の創造性や国際性を育むことを目的に教育支援活動を行っています。行政、教育委員会、学校、大学、研究機関、企業、NPOや第一線で活躍する科学者やクリエイターと協力し、学校支援、各種ワークショップやコンテストなどを実施しています。また、21世紀型の教育に関して、実践を通して、社会に積極的に提案しています。

Webサイト

[スーパーサイエンスキッズ](http://www.supersciencekids.com)



メールアドレス

info@supersciencekids.com